

本県関係の答申物件の概要

【登録記念物（動物、植物及び地質鉱物関係）】

○ いちかわこうぶつけんきゅうしつしゅうぞうひょうほん 市川鉱物研究室収蔵標本

- ・所在地 越前市中新庄町55字22番地3
- ・所有者 市川 啓
- ・員数 総数12,039点
(内訳) 地質鉱物標本7,731点 書籍3,676点
書簡類198点 原稿、写真、物品類434点
- ・特徴 いちかわしんまつ 市川新松は、水晶の結晶面に現れた天然蝕像しよくぞうなどが、水晶の結晶構造を解明するためには重要な構造であることに早くから着目し、水晶を構成する原子のらせん構造などの結晶構造解明にも及んだ。これらの研究成果は、パソコンや携帯電話などに使用されている、精密な水晶振動子を量産するための人工水晶製造の先駆的研究となっている。
市川新松コレクションは、日本の鉱物学研究の黎明期にあたる明治・大正・昭和初期にかけて、水晶の蝕像を研究し続け、世界的な研究業績を残した鉱物学者市川新松が研究に使用した鉱物標本類のコレクションである。